アメニティデザイン企業

DAIKEN

施工後、必ずお施主様にお渡しください。

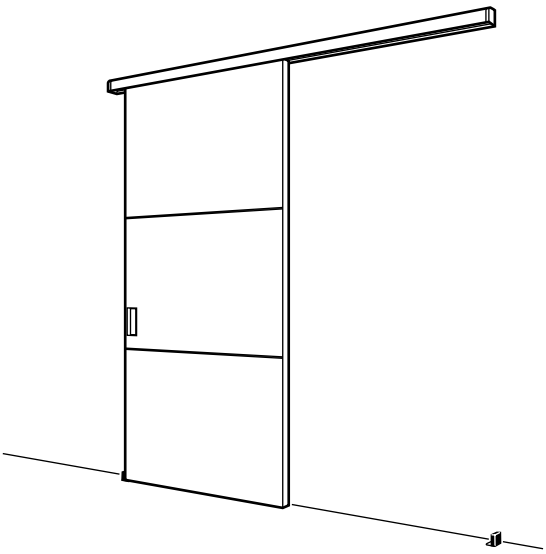
施工説明書

取扱説明書

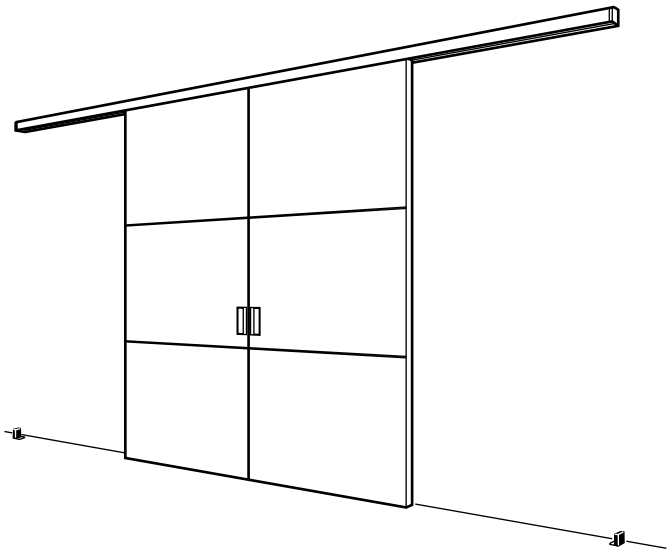
ダイケン 開閉間仕切RⅢシリーズ<引戸タイプ>

アウトセット

〈片引・引分〉



片　引



引　分

この冊子には、施工上重要な項目が記載されています。
施工の際にはよく読み、手順通りに正しく施工してください。
又、使用後は必ずお施主様にお渡しください。

大建工業株式会社

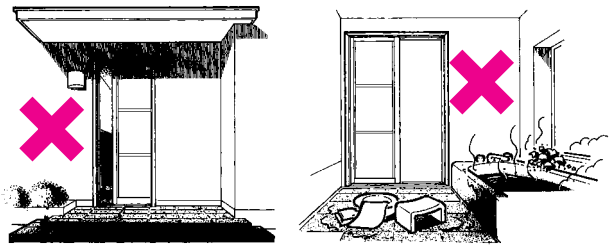
開閉間仕切引戸アウト-ST101012

必ずお守りいただきたいこと

⚠施工上注意

ダイケン開閉間仕切RⅢシリーズを長期間安全に使えるように施工するために、またトラブルのない確実な施工をしていただくために、以下のことを必ずお守りください。

●この吊戸は一般住宅用の室内用吊戸です。
室外や湿気の多い場所、また病院や施設等、不特定多数の方が使用される場所でのご使用はおやめください。

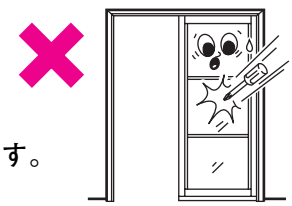


●扉が落下しないように、下記をお守りください。
――扉の荷重はすべて壁で支えますので、必ず間柱や、合板12ミリ厚以上の十分な下地に固定できるように下地の配置をお願いします。
――レールは正しい位置に指定本数の指定ネジで確実に行ってください。
――レール端部のエンドカバーはキャッチと合わせて指定のビスで確実に固定してください。

●扉と壁とは20ミリ程のスキ間を設定していますので、造作材（出隅・無目枠）などでスキ間（5ミリ程まで）を調整して納めてください。

●扉・枠及び金具、採光部に工具などをぶつけたり、運搬時にひきずらないようにご注意ください。

――傷をつけるおそれがあります。



●工事が完成するまでの間、扉はたてかけて保管しないでください。
扉は平積み保管してください。また、ガイドピンと下部ストッパーは扉吊りこみまでの間に無くさないように保管してください。

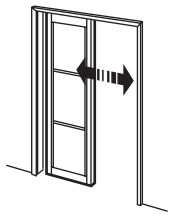
●照明灯、ストーブ等を近づけすぎないでください。

――熱によるシート変色、ふくれ等の原因となります。

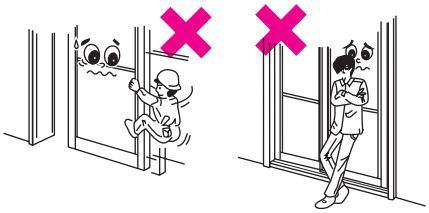
⚠使用上注意

本製品を安全に、また末永くご愛用いただくためにご使用前に必ずよく読み、正しい使用法・使用上の注意事項をよく理解してください。この取扱説明書は、いつでも利用できるように、大切に保管してください。

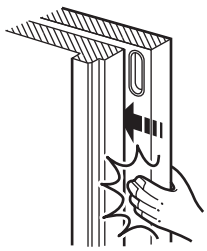
●扉の開閉は、静かに行ってください。乱暴に扱うと扉が破損したり脱落する恐れがあります。



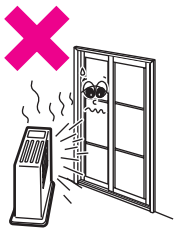
●扉にぶつかったり、扉にもたれたりしないでください。扉が破損したり、脱落する恐れがあります。



●扉を開閉する際、指をはさまないよう、注意して操作してください。
特に小さなお子様には十分ご注意ください。



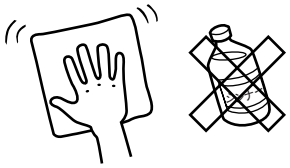
●ストーブ等の熱源を近づけないでください。扉が反ったり、表面がゆがんだりすることがあります。



●採光部に強い衝撃を与えたり、物をぶつけたりしないでください。採光部が割れるおそれがあります。特に小さなお子様には十分ご注意ください。

お　手　入　れ　の　方　法

●扉や枠の清掃は、乾拭き又は中性洗剤を薄めて、硬く絞って拭いてください。
シンナー・ベンジン等を使用すると、表面の艶が変わったり、変色する場合がありますので、避けてください。



目　　次

必ずお守りいただきたいこと

製品寸法図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

部材・部品表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

施工手順 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3〜8

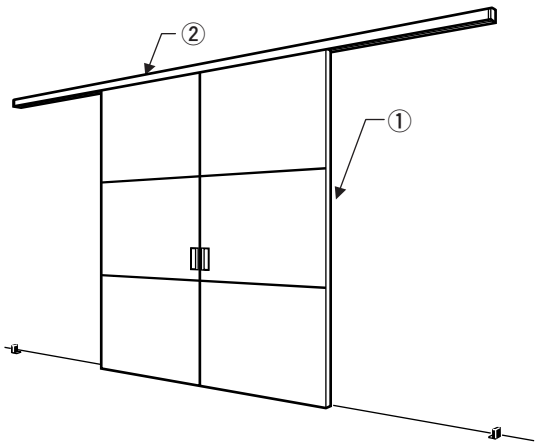
ホルムアルデヒド発散区分資料

ダイケン 開閉間仕切RⅢシリーズ <引戸タイプ> アウトセット

F ☆☆☆☆（住宅部品表示ガイドラインによる）

この度はダイケン 開閉間仕切RⅢシリーズ<引戸タイプ> アウトセットをお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。
本製品のホルムアルデヒド発散に関する性能担保は下の図表の様になっております。
建築確認の際に本資料をご利用ください。

製品の構成とホルムアルデヒド発散区分



規制対象外（F☆☆☆☆）

構成部位	内装仕上げ部分（表面）				下地部分（裏面・内面）		
	ホルムアルデヒド発散建築材料		発散区分	認定番号	ホルムアルデヒド発散建築材料	発散区分	認定番号
①ウッド扉 RVGG04-2E■■ RVGH04-2D■■	樹脂シート張MDF	大臣認定品	規制対象外 (F☆☆☆☆)	MFN-0143	−		
①ウッド扉 (2010年11月発売品) RVGG05-2E■■ RVGH05-2D■■	ポリサンド紙張MDF	大臣認定品	規制対象外 (F☆☆☆☆)	MFN-0144	−		

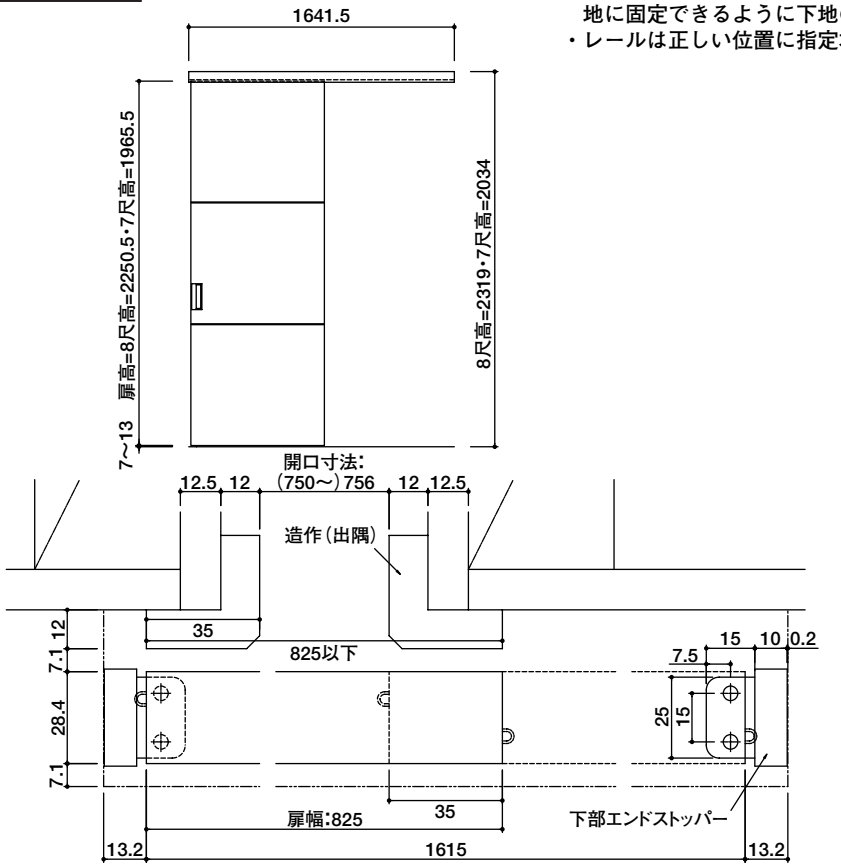
規制対象外部位・告示対象外

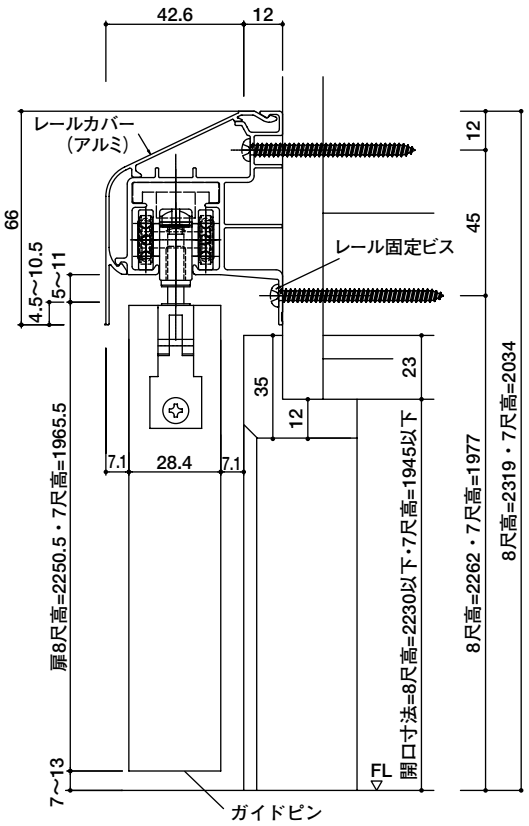
②スケルトン扉 /吊車/レール ほか	告示対象外

製品寸法図

片　引

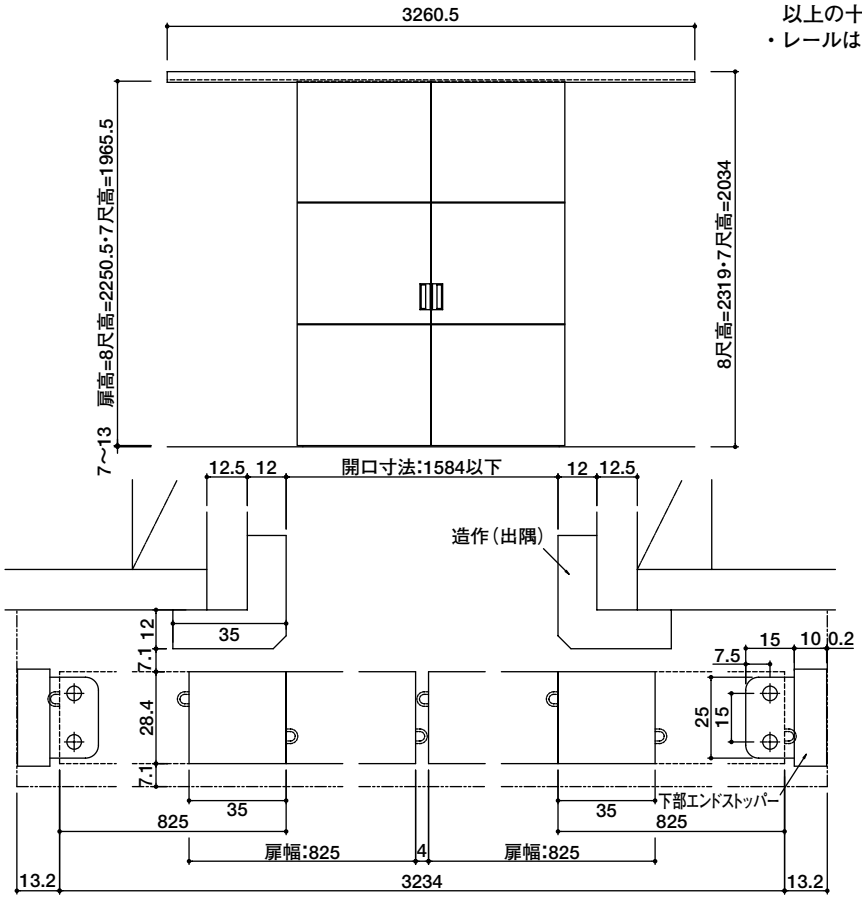
●扉が落下しないように、下記をお守りください。
・扉の荷重はすべて壁で支えますので、必ず間柱や、合板12ミリ厚以上の十分な下地に固定できるように下地の配置をお願いします。
・レールは正しい位置に指定本数の指定ネジで確実に行ってください。

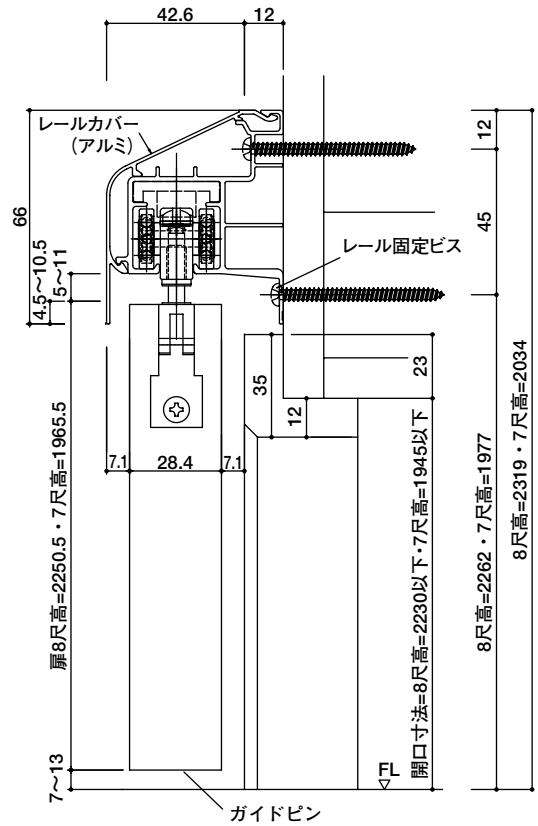




引　分

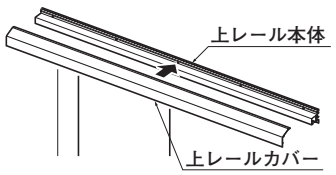
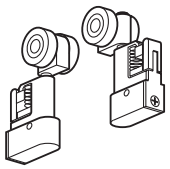
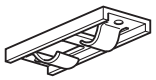
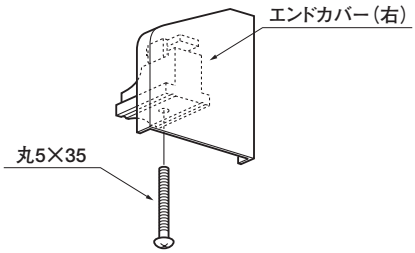
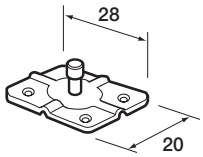
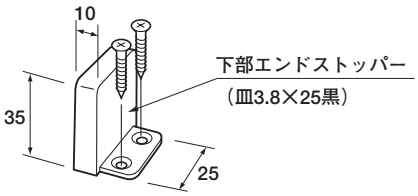
●扉が落下しないように、下記をお守りください。
・扉の荷重はすべて壁で支えますので、必ず間柱や、合板12ミリ厚以上の十分な下地に固定できるように下地の配置をお願いします。
・レールは正しい位置に指定本数の指定ネジで確実に行ってください。





部材・部品表

施工前に必ず部品を確認してください。

部品名称			幅 片引 1641.5	幅 引分 3260.5	備考
上レール本体	片引用	L=1637.5	1	—	
	引分用	L=3256.5	—	1	
上レールカバー	片引用	L=1637.5	1	—	
	引分用	L=3256.5	—	1	
同梱部品	レール固定ビス	ドリルビス4×45ナベ	10	18	
	吊車		2	4	※扉1枚に対し、吊車を内側に向けてください。 
	キャッチ		2	2	※必ずエンドカバーと合わせてエンドカバー取付用ビスで固定してください。 
	エンドカバー		左右各1	左右各1	
	エンドカバー取付用ビス		2	2	
	ガイドピン		1	2	
	ガイドピン取付用ビス	皿φ3.1×20	4	8	
	下部エンドストッパー（黒）		2	2	
	下部エンドストッパー用ビス		4	4	
	施工／取扱説明書		1	1	必ずお施主様にお渡しください。

※扉（ウッド扉またはスケルトン扉）は別梱包（片引1枚／引分2枚）

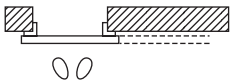
施工手順

1 開口部の準備

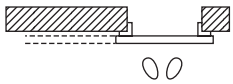
・開口部を下図・下表に従って準備してください。

・片引きの場合、扉の右引き、左引きを確認して開口部を準備してください。

（右図のように、扉を施工する側に立って扉が右に開くものが右引き、その逆が左引きとしています。）



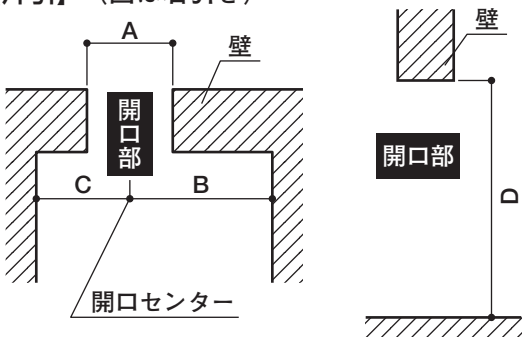
右引きタイプ



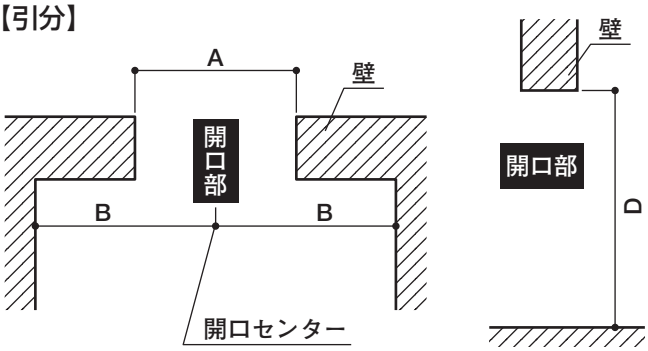
左引きタイプ

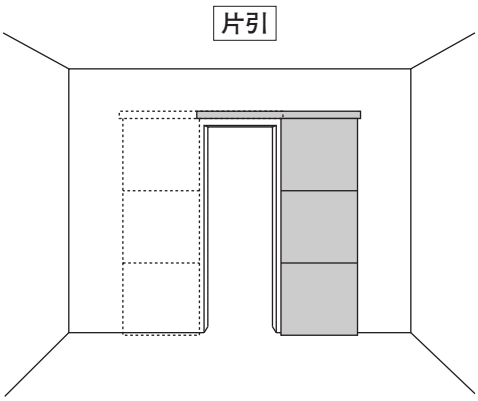
■取付け範囲

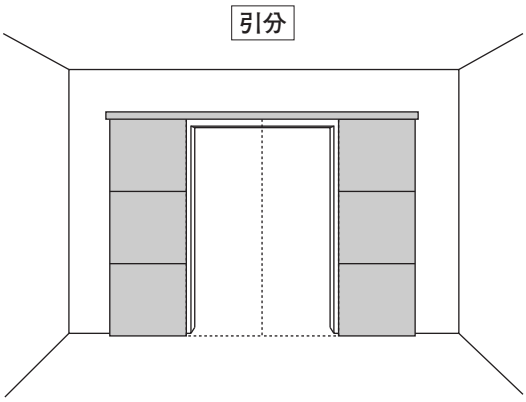
【片引】（図は右引き）



【引分】







	A （開口幅）	B ※2 （扉開閉方向）	C ※2	D （開口高）
片引	774以上 ※1 枠内：750以上 枠外：825以下	1253以上	464以上	8尺高扉 2230以下
				7尺高扉 1945以下
引分	1608以下 ※1 枠外：1654以下	1670以上	—	8尺高扉 2230以下
				7尺高扉 1945以下

※1 造作部材の枠外内寸法です。
- 片引の「枠内750以上」は裏からも引手に手が入る寸法です。
- 枠外は上記寸法以下となっていますが、扉と壁とのチリが目立たない様に納める必要があります。

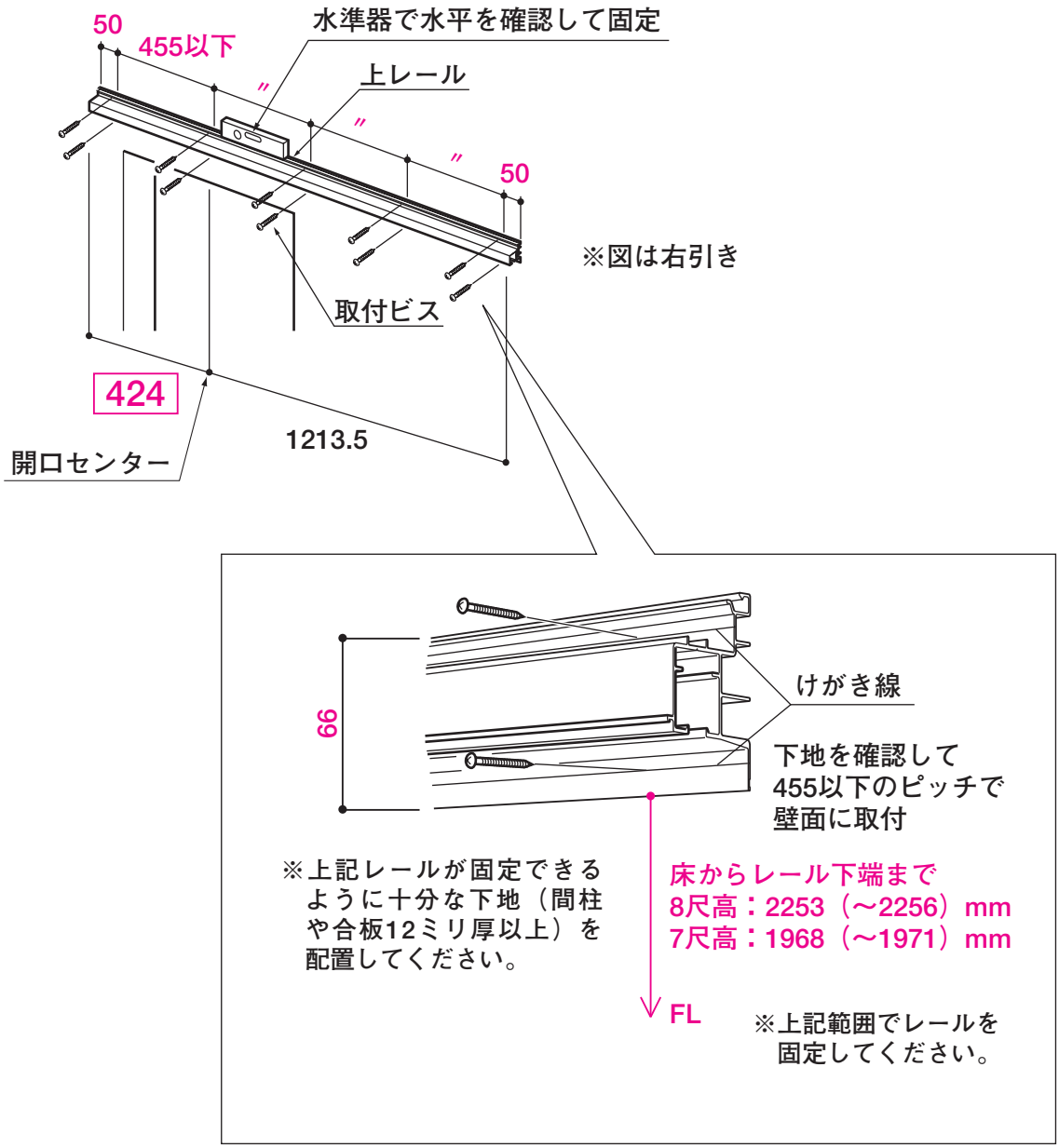
※2 B・C寸法はレールエンドカバーを横からはめるのに必要な寸法です。

2 レール本体の取付け

片引

①1も参照し、扉の開閉方向を確認した上で、レールの取付け方向を決めてください。
②レール下端を床から 8尺高 2253（～2256）mm　7尺高 1968（～1971）mm の位置に固定してください。水準器などを使いレールの水平を確認して固定してください。
※レール本体上下にある溝（けがき線）に沿って、レール端から50mm程度を基準とし、図のように中間部は455mmピッチ以下にて下地を確認し、固定してください。

⚠注意 荷重は全て壁で支えます。必ず間柱や合板12ミリ厚以上の十分な下地に固定してください。下地が丈夫でないと、扉が落下しケガをする恐れがあります。

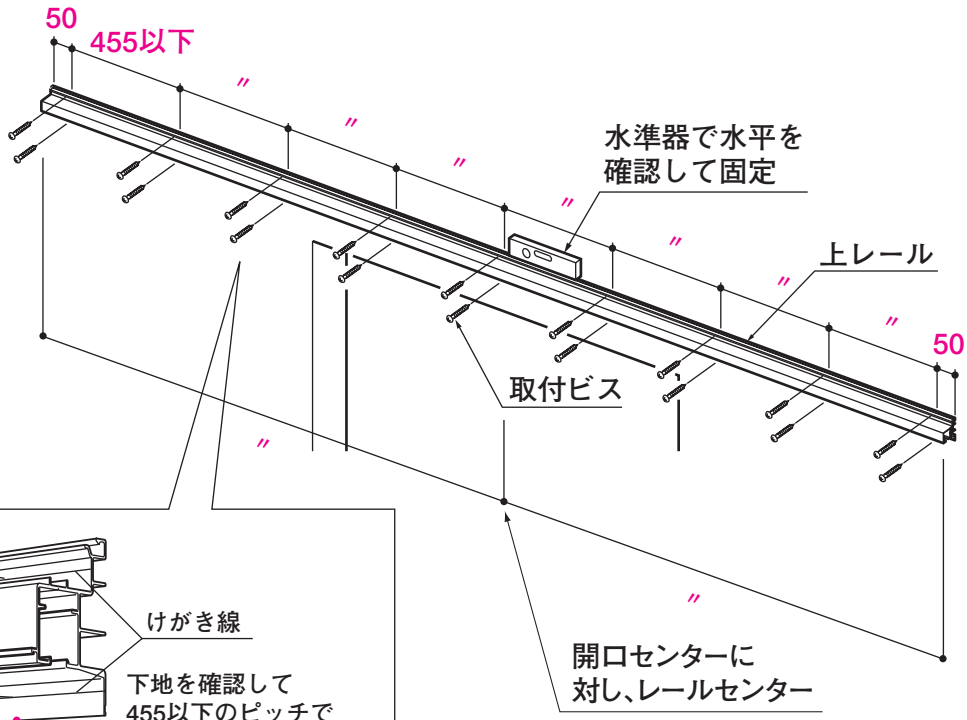


レール本体の取付け

引分

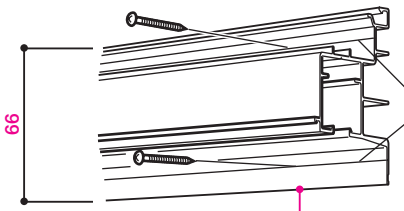
●レール下端を床から 8尺高 2253（〜2256）mm　7尺高 1968（〜1971）mm の位置に固定してください。水準器などを使いレールの水平を確認して固定してください。

※レール本体上下にある溝（けがき線）に沿って、レール端から50mm程度を基準とし、図のように中間部は455mmピッチ以下にて下地を確認し、固定してください。



⚠注意

荷重は全て壁で支えます。必ず間柱や合板12ミリ厚以上の十分な下地に固定してください。下地が丈夫でないと、扉が落下しケガをする恐れがあります。



※上記レールが固定できるように十分な下地（間柱や合板12ミリ厚以上）を配置してください。

床からレール下端まで
8尺高：2253（〜2256）mm
7尺高：1968（〜1971）mm

FL

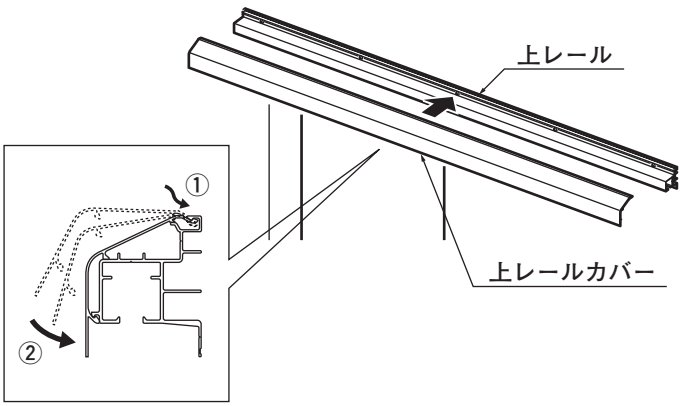
※上記範囲でレールを固定してください。

3 レールカバーの取付け

片引　引分

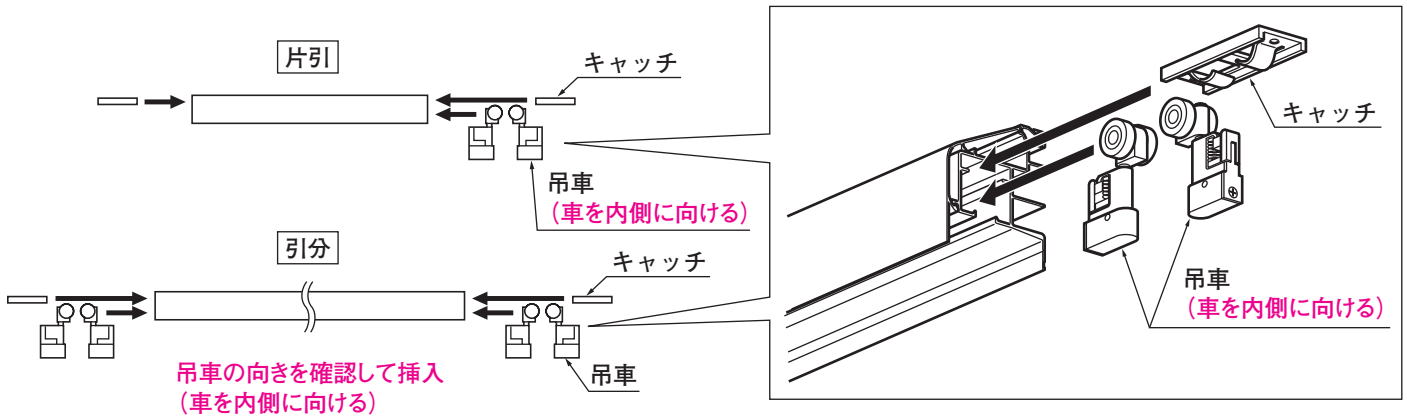
図のように上レールカバーを本体上の溝にはめて（①）から、下側（②）にはめこんで固定してください。
両端を本体と合わせてください。

レールカバーの端から②を押すようにしてはめこんでいくと、比較的容易にはめこめます。



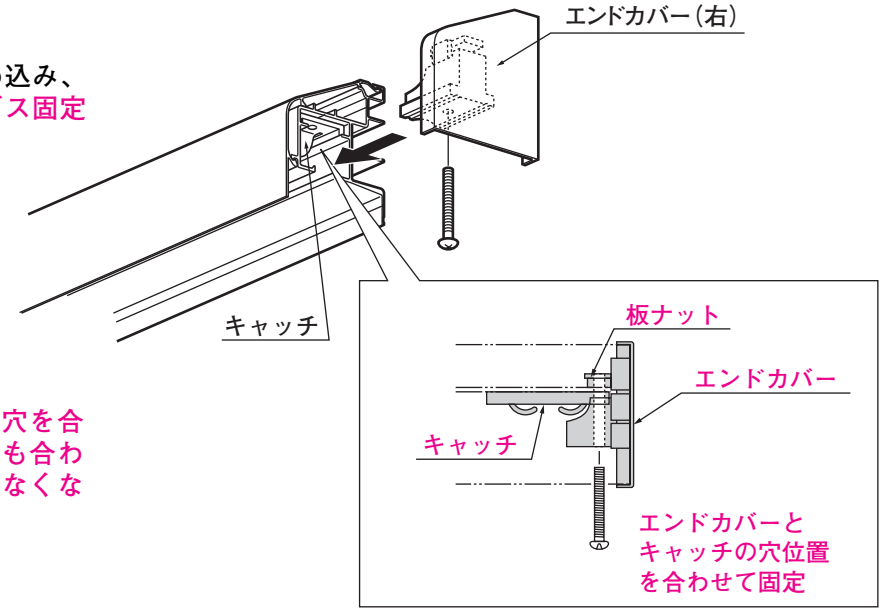
4 吊車・キャッチの挿入

①図のようにレールに吊車・キャッチを挿入してください。
吊車は出っ張り部を内々に向けて挿入します。
※引分タイプの場合は、レール中央にストッパーがあるため、両側からそれぞれ出っ張り部を内々に向けて挿入してください。
②吊車を挿入した後、キャッチをレールの両端から挿入してください。



5 エンドカバーの取付け

図のように左右のエンドカバーをはめ込み、挿入しておいたキャッチと合わせてビス固定してください。



⚠注意

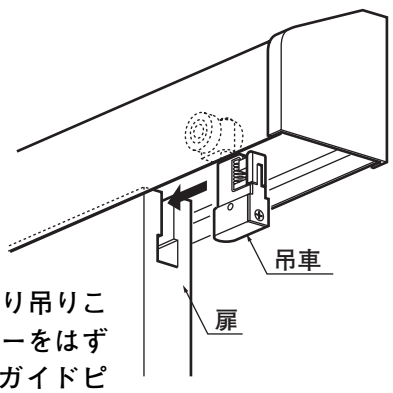
必ずキャッチの穴とエンドカバーの穴を合わせて固定してください。キャッチも合わせて固定しないと正常に扉が開閉しなくなります。

6 扉の吊りこみ・調整

①扉を吊りこんでください。

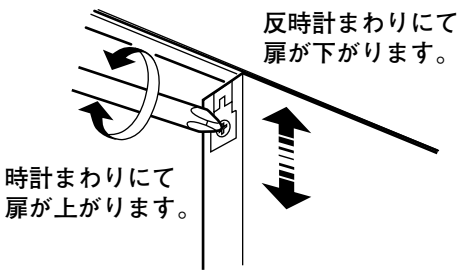
⚠注意

必ず吊車を完全にはめこんでください。



※扉がレールカバーにひっかかり吊りこめない場合は、いったんカバーをはずしてください。7 に従い、ガイドピンを取付けた後扉を吊りこみ、再度レールカバーをはめこんでください。

②吊車の調整ビスで扉と床のスキマを調整してください。（調整可能範囲 6 mm）



⚠注意

調整吊車で調整しきれない場合は再度レールの水平・高さを確認し手直ししてください。

7 ガイドピンを床に取り付けてください。

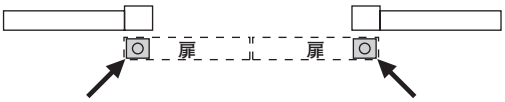
⚠ 注意 必ず扉の上下調整（6）をしっかり行ってから、ガイドピンを取り付けてください。

吊り込んだ扉を開けた状態で印を付けてから取り付けてください。

ガイドピンの取付け位置: →

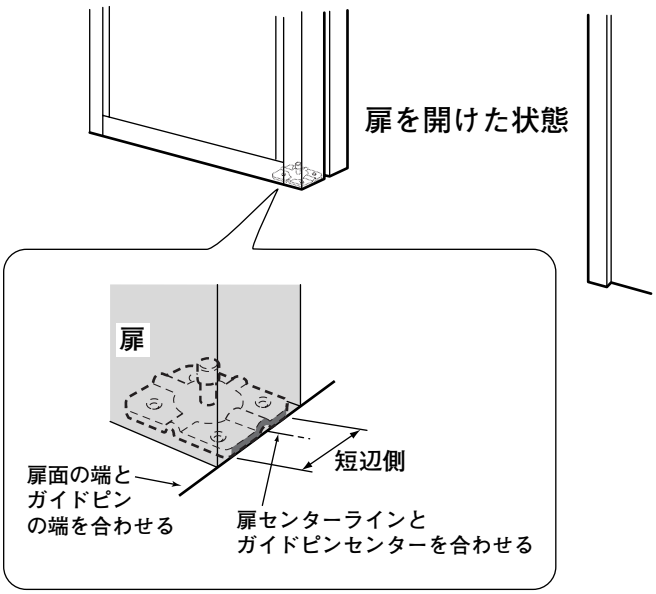
【片引】（図は右引き）

【引分】

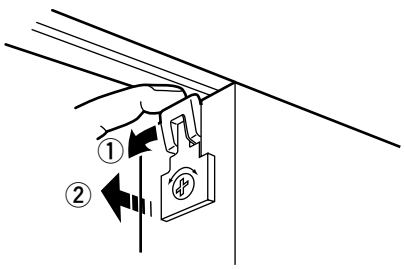


※扉はガイドピンを中心に扉巾分だけ左右にスライドします。

① ガイドピンの短辺側が扉面の端にそろうように位置を決めて印をつけてください。

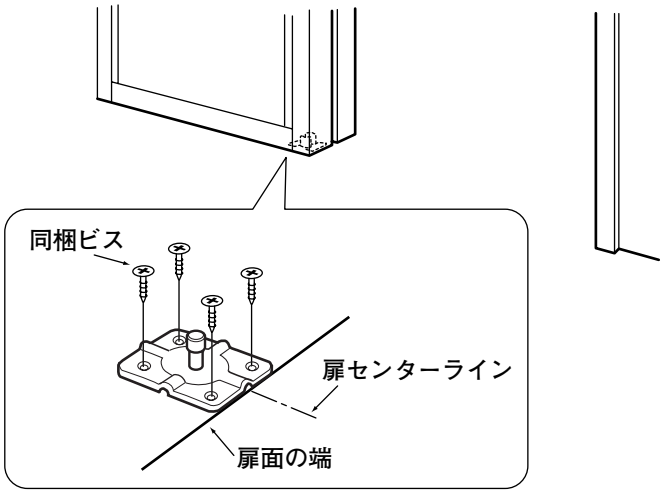


② 吊車をいったんはずし、扉をはずしてください。

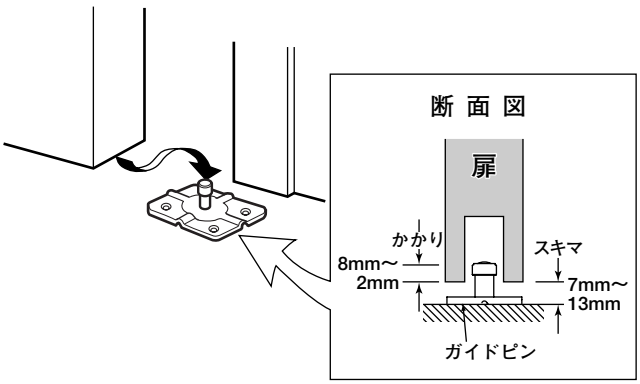


つまみを引っ張ればはずれます。

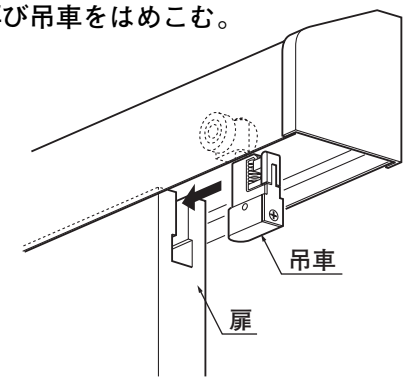
③ ガイドピンを同梱のビスで取付けてください。



④ 扉をガイドピンにはめこんでください。



⑤ 再び吊車をはめこむ。



⚠ 注意 引手が表紙の位置にくるように吊りこんでください。（ウッド扉の場合）

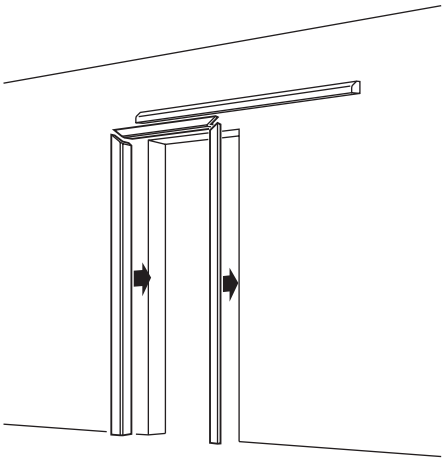
⑥ 扉を静かに開閉し、ガイドピンがガイド溝に触れないことを確認してください。

⚠ 扉を上げすぎるとガイドピンに扉がかからない恐れがあります。その場合は再度吊車で高さ調整してください。

⚠ 扉下木口と床面とのスキマは 4 mm以上あけてください。ガイドピンと扉下木口がこすれ、作動不良の原因となります。

8 造作部材の取付け

⚠注意 扉と壁とのチリは20ミリ程度あり、別途手配の造作材などでスキ間をかくす様に施工する必要があります。

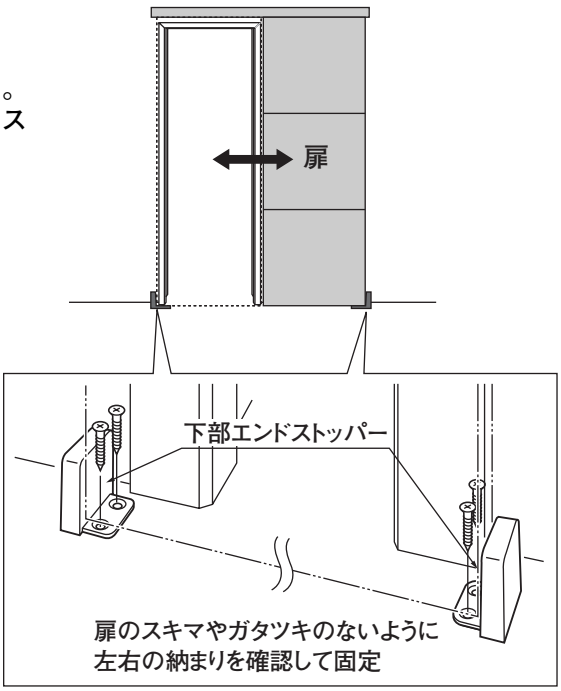


製品寸法図 を参考に、造作部材で開口部を仕上げてください。
その際、以下内容を配慮ください。

・扉と造作材のスキ間　5～8mm程度で納める
開口（仕上）寸法を守りながら扉端の壁とのスキ間をかくす様に納めてください。
・扉と開口部の重なり代を30mm以上確保しないと、スキ間が目立つようになります。
・造作横部材がレールと干渉しないようにしてください。

9 下部エンドストッパーの取付け

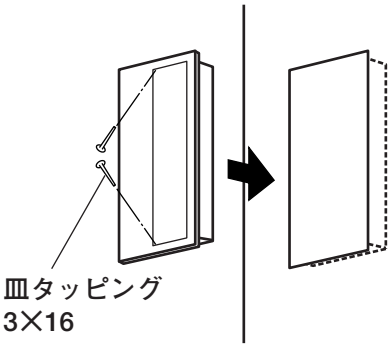
①扉を完全に開けた状態で扉の上下調整を再度確認してください。
②この状態で扉端が下部エンドストッパーに当たるように、ビス固定してください。



⚠注意

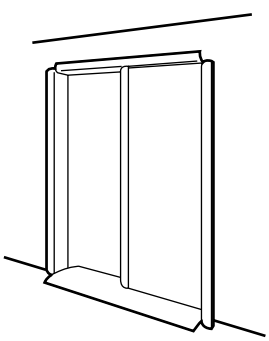
・ビス固定側は内々側に向けてください。
・扉ががたついたり、開ききらないよに固定してください。

10 ウッド扉の場合は、扉に引手を取付けてください。（引手は別梱）

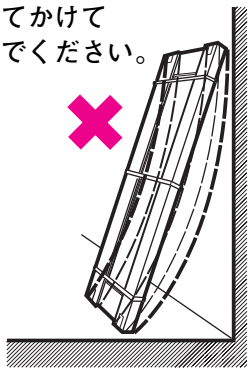


⚠注意 同梱の取付ビスでしっかり固定してください。

11 工事が完成するまで扉・レール・造作材などをダンボールなどで養生してください。



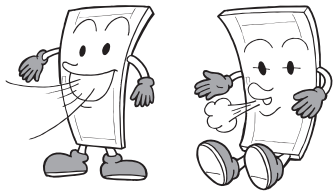
※扉を壁にたてかけて
保管しないでください。



木質材料の性質について

木質開閉間仕切扉の「反り」について

木材を原料とする木質材料（合板、パーティクルボード、MDFなど）を加工して作られた開閉間仕切扉は、空気中の水分を吸収したり放出したりすることにより、伸縮する特性を有しています。この空気中の水分の吸収・放出は開閉間仕切扉周辺の温度、湿度等の環境条件の変化に応じて発生するものであり、自然現象といえます。特に、開閉間仕切扉の室内面側と室外面側の環境条件が大きく異なる場合、「反り」という現象が発生することがあります。



「反り」の発生を出来るだけ抑える方法について

ご使用の環境や設置場所によって「反り」が発生する場合があります。「反り」の発生をできるだけ抑える方法として、次のことにご注意ください。

①エアコン、暖房器具等をお使いになる場合は、開閉間仕切扉に直接熱風、熱気が当たらないようにしてください。

②夏場の冷房、梅雨時の除湿、冬場の暖房等により、室内と室外の環境条件の差を極端に大きくしないでください。

③開閉間仕切扉に直接日光が当たる場合は、窓辺にカーテン、すだれ等を設けて日光を遮ってください。

発生した「反り」は仕切られた両側の部屋の環境条件を近づける事によって、小さくなる事があります。

商品の保証について

商品保証とは、保証期間、保証内容の範囲において故障が発生した場合に、無料で修理をお約束するものです。詳しくは、下記内容をご参照ください。

■対象商品

開閉間仕切

■保証期間

引渡し後2年とさせていただきます。弊社商品の引渡完了後に生じた、弊社の責任に起因する製品の不具合を、無料で修理する期間としています。保証期間を経過した製品においても、修理可能なものは、有償にて修理を承ります。

■保証期間内でも以下の場合は有料となります。

①建物の設計・施工に起因する場合

②自然現象・周辺環境等の不可抗力に起因する場合

③建物自体の変形、入居後における増改築や改修等に起因する場合

④入居者又は第三者の不適切な使用又は維持管理等に起因する場合

⑤経時変化による通常一般的な当該保証対象製品の色褪色、汚れ、劣化、磨耗など

⑥製造時に実用化されていた技術では予測する事が不可能な事象に起因する場合

⑦その他当該不具合品の発生が弊社の責によらない場合

ご相談窓口について ●製品に関するお取り扱い、補修、工事などのご相談は、工務店へ。●DAIKENへ直接ご相談される場合は、下記窓口へお願いします。

製品に関するお問い合わせご相談

DAIKENお客様センター

0120-787-505

（フリーダイヤル）

● 携帯・PHSからは
TEL 0570-064-876へお電話ください。

● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

修理に関するお問い合わせご相談

ダイケンホーム&サービス株式会社

06-4257-3121

● 受付時間…平日9:00～17:00
（土・日・祝日・年末年始・お盆はお休みをいただいています）

修理・交換部品のご購入の方は

DAIKENパーツショップ
部品のネット販売サイトです。

http://www.daiken.jp/service/

DAIKENホームページ ▶ お客さまサポート ▶ ▶▶▶▶ DAIKENパーツショップ

ご相談窓口における個人情報のお取扱い

大建工業株式会社及び大建工業グループ各社は、当社「個人情報の取扱いに関する方針（プライバシーポリシー）」に則ってお客様に関する個人情報を利用させていただく場合がございます。（大建工業株式会社プライバシーポリシーに関しましては、当社ホームページに掲載しております。）尚、電話での相談に対し、折り返し電話をさせていただく時のためにナンバーディスプレイを採用しています。またご相談内容を正確に把握し、適切に対応するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

北海道営業部	
札幌営業所	☎(011)207-5330
札幌特販営業所	☎(011)207-5330
旭川営業所	☎(0166)24-1377
函館事務所	☎(0138)47-7191
帯広事務所	☎(0155)25-8421
東北営業部	
盛岡営業所	☎(019)636-1161
仙台営業所	☎(022)243-6621
東北特販営業所	☎(022)243-6621
青森営業所	☎(017)735-8811
郡山営業所	☎(024)946-7211
秋田事務所	☎(018)862-4441
山形事務所	☎(023)632-2711
関東営業部	
埼玉営業所	☎(048)669-0660
宇都宮営業所	☎(028)621-6431
群馬営業所	☎(027)321-5511
新潟営業所	☎(025)285-5887
長野営業所	☎(026)222-6311
長岡営業所	☎(0258)33-5734
熊谷事務所	☎(048)527-5601
松本事務所	☎(0263)40-0370
首都圏営業部	
東京営業所	☎(03)6271-7731
横浜営業所	☎(045)222-4781
千葉営業所	☎(043)287-8491
多摩営業所	☎(042)571-3434
水戸営業所	☎(029)248-8511
静岡営業所	☎(054)288-3881
浜松営業所	☎(053)458-5751
山梨事務所	☎(055)275-7931
我孫子事務所	☎(04)7183-4070
相模原事務所	☎(042)770-9130
中京営業部	
名古屋営業所	☎(052)205-5811
名古屋特販営業所	☎(052)205-5811
三重営業所	☎(059)226-7073
岐阜事務所	☎(058)246-6752
三河事務所	☎(0564)65-8681
北陸営業部	
金沢営業所	☎(076)262-3211
北陸特販営業所	☎(076)262-3211
富山事務所	☎(076)429-7250
福井事務所	☎(0776)26-8508
近畿営業部	
大阪営業所	☎(06)6452-6200
大阪特販営業所	☎(06)6452-6220
リモデル営業所	☎(06)6452-6171
京都営業所	☎(075)341-8151
兵庫営業所	☎(078)321-1822
沖縄営業所	☎(098)879-4916
和歌山事務所	☎(073)473-8090
中国営業部	
広島営業所	☎(082)505-2525
広島特販営業所	☎(082)505-2525
岡山営業所	☎(086)262-2271
岡山特販営業所	☎(086)262-2271
山口事務所	☎(083)974-0303
福山駐在	☎(084)924-7196
四国営業部	
高松営業所	☎(087)866-6260
高松特販営業所	☎(087)866-6260
松山営業所	☎(089)934-7585
徳島営業所	☎(088)624-4210
高知駐在	☎(088)885-6202
九州営業部	
福岡営業所	☎(092)413-2345
福岡特販営業所	☎(092)413-2345
熊本営業所	☎(096)372-5211
南九州特販営業所	☎(096)372-5211
鹿児島営業所	☎(099)254-8300
北九州事務所	☎(093)522-1224
長崎事務所	☎(0957)35-0161
大分事務所	☎(097)533-8701
宮崎駐在	☎(0985)26-5908
東部住宅営業部	☎(03)6271-7721
集合住宅営業部	☎(03)6271-7751
工事建材課	☎(03)6271-7766
リモデル営業部	☎(03)6271-7761
リテール営業部	☎(03)6271-7755
西部住宅営業部	☎(06)6452-6232
集合住宅営業1・2課	☎(06)6452-6243
工事建材課	☎(06)6452-6245
住機製品事業部 営業課	☎(0763)82-5882

大建工業株式会社

DAIKENのホームページアドレス　http://www.daiken.jp/

2010.10 現在